

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和2年12月28日
住 所 鴻巣市東一丁目1-25
県内企業等の名称 社会福祉法人元気村
代 表 者 氏 名 理事長 神成 裕介

社会福祉法人元気村 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

平成5年に創業以来「家族主義」「現場主義」をモットーに、安心安全な生活はもちろん、ご利用者一人ひとりの「生きがい」まで追求し必要なことは積極的に取り組み、様々なニーズに応え地域に貢献すべく取り組みを進めて参りました。SDGsは元気村が「共に生きる」の理念のもとに取り組んできた諸課題と重なり合うものです。私たちはこれまでの取り組みをSDGsのフレームを通して整理し、2030年のゴール目指して地域から世界に広がる感動介護を実現し、すべての人が元気に笑顔で楽しく「共に生きる」社会を目指したいとの思いから、コミットメントを宣言することとしました。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	◇業務のIT化により、ペーパーレスを図っていきます。 (複合機カウンター料使用枚数:1,149,447枚/年(2019年度実績))	<2030年に向けた指標> 複合機カウンター料の使用枚数を15%カットする(平成31年度比) <取組開始3年後に向けた指標> 複合機カウンター料の使用枚数を7%カットする(平成31年度比)
社会	◇多様な働き方を推進する <2019年度末数値> ・女性の管理職割合:33.3% ・高齢者の雇用比率:21.82%	<2030年に向けた指標> 女性の管理職割合:50%, 高齢者の雇用比率:25% <取組開始3年後に向けた指標> 女性の管理職割合:38%, 高齢者の雇用比率:22.7%
経済	◇BPRを導入し業務フローを見える化し、生産性を上げ、高品質のサービス提供を可能にし、従業員満足度を高める (事務作業時間51,612時間/年(2019年度実績))	<2030年に向けた指標> BPR導入による事務作業時間を25%カットする <取組開始3年後に向けた指標> BPR導入による事務作業時間を7.5%カットする

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。